

JUNICHI

中原淳一展



中原淳一《表紙原画(『ひまわり』第4巻第4号)》1950年 個人蔵
© JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

「開館時間」午前9時30分〜午後5時(入館は午後4時30分まで) 「休館日」月曜日(祝日の場合は開館)、4月30日(木)、5月7日(木)
 「観覧料」一般/大・高生 800(640)円、中学生以下無料、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と
 その介助者1名は無料*(内は20名以上の団体料金)*家庭の日の第3日曜日(4月19日、5月17日)は中学生以下の子ども同伴者2名まで観覧無料
 *6月13日(土)、14日(日)は「県民の日」のため観覧無料
 「主催」栃木市教育委員会、栃木市立美術館 「後援」朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、
 読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、ケイブルテレビ株式会社、株式会社とぎテレビ、株式会社栃木放送
 「協力/監修」ひまわりや、「栃木市立美術館」文学館企業等サポーター「涌沢ハム株式会社、栃木信用金庫、株式会社ホンダカーズ栃木中央、株式会社日光製作所、
 トヨタホーム株式会社、栃木事業所、ケイブルテレビ株式会社」登録日順(令和8年3月1日現在)

2026.

4.11(土) ~ 6.14(日)

栃木市立美術館
 Tochigi City Art Museum
www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel : 0282-25-5300

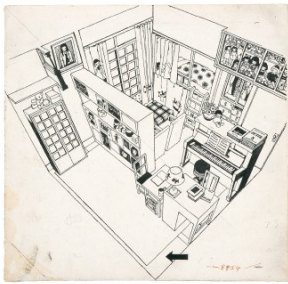
NAKAHARA

中原淳一(1913-1983)は編集者、文筆家、画家、ファッションデザイナー、インテリアデザイナー、人形作家などさまざまなジャンルで才能を発揮しました。本市ゆかりの小説家・吉屋信子の『花物語』の挿絵と装丁を手がけたことでも知られています。

中原は、1932(昭和7)年、雑誌『少女の友』に掲載された自身の人形展の記事がきっかけとなり、同誌の専属画家として挿絵や表紙絵を描き、編集や付録の企画にも関わりました。初めて連載を担当したファッションページ「女学生服装帖」では、日中戦争が始まり戦時色が強まるなかでも時局をふまえつつ、装う楽しさを少女たちに伝えました。しかし、中原が描く少女たちは「華美で不健康」とされ、1940年の6月号を最後に『少女の友』を去りました。

中原は終戦1年後の1946年、「再び人々が夢と希望を持って、美しく暮らすための本をつくりたい」という想いから、雑誌『ソレイユ』(8号以降『それいゆ』と改名)を創刊しました。中原の雑誌編集への情熱はこれに続く『ひまわり』、『ジュニアそれいゆ』、『女の部屋』にも注がれ、ファッションやインテリアの提案だけでなく文学、美術、音楽など内面を磨く記事が掲載されました。

本展は中原の雑誌や著作本の表紙原画、雑誌付録、手がけた服など約180点を展示し、現在も色褪せないメッセージが散りばめられた、中原淳一の創作の数々を紹介します。



1 《表紙原画(『それいゆ』第37号)》1956年 2 《表紙原画(『ひまわり』臨時増刊第4巻第6号)》1950年
 3 《少女の友(第33巻第5号)》1940年 4 《挿絵原画(吉屋信子『花物語』)》1939年
 5 《子供は大人のおさがりばかりで楽しく暮らす(『それいゆ』第16号原画)》1951年 6 《屋根裏部屋の少女(『ひまわり』第5巻第9号原画)》1951年
 7 《アップリケのスカート》制作年不詳

関連イベント

■ギャラリートーク

講師=中原 利加子氏
 (株式会社ひまわりや代表取締役/本展監修者)
 日時=5月24日(日) 14:00~1時間程度(予定)
 対象=どなたでも
 集合場所=展示室A ※当日の企画展観覧券が必要です

■学会員によるギャラリートーク

日時=6月6日(土) 14:00~1時間程度(予定)
 対象=どなたでも
 集合場所=展示室A ※当日の企画展観覧券が必要です

■ワクワク缶バッジづくり!

美・文サポーターと一緒に中原淳一展オリジナル缶バッジをつくります。
 日時=5月17日(日) 10:30~16:30
 場所=美術館 多目的室
 対象=どなたでも
 参加費=無料(「家庭の日」のため中学生以下の子どもの同伴者2名まで観覧無料)

■羊毛フェルトで作る猫のブローチ

中原 淳一の作品に登場する猫の小さなブローチを羊毛フェルトで作ります。
 日時=5月31日(日) 10:00~12:00
 講師=関口 友子氏(ハンドメイド作家)
 場所=美術館 多目的室
 対象=中学生以上
 定員=10名(事前申込制、先着順)
 材料費=1人500円(材料費)
 申込開始日=4月25日(土) 10:00~
 申込方法=電話 0282-25-5300

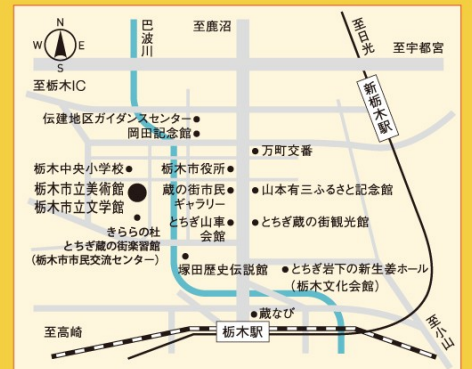
■抹茶の日

菓子と抹茶のセットをお召し上がりいただけます。数量限定、無くなり次第、終了します。
 日時=6月13日(土) 10:30~
 場所=美術館 多目的室
 対象=どなたでも
 料金=1人500円

■同時開催 収蔵品展 I 会場=展示室C 観覧料=一般/大高校生330(260)円 中学生以下無料
 ※()内は20名以上の団体料金

■栃木市立文学館 企画展 國學院大學栃木学園図書館所蔵資料展
 本が伝える 人が教える—地域の知の拠点—
 ■4月18日(土)~9月27日(日)
 会場=文学館2階多目的室 観覧料=一般/大高校生330(260)円 中学生以下無料
 ※()内は20名以上の団体料金

■次回開催予告 生誕100年 安野光雅展 7月4日(土)~9月23日(水・祝)



交通アクセス
 【電車】栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
 【バス】栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で
 「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分
 【車】東北自動車道、栃木ICから約10分

栃木市立美術館
 Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel: 0282-25-5300



X(Twitter): @tcam_tclm
 Facebook: @tcam_tclm
 Instagram: @tcam_tclm

*掲載作品はいつでも中原淳一作、個人蔵
 © JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA